



青少年防災キャンプ 経験は心強い拠り所

去る8月11日の大雨により、被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

本校の生徒におきましては、大きな被害や人身に係るけが等もなかったと認識しております。概ね無事であったことに安堵しているところです。

8月30日、31日（土、日）には青少年防災キャンプ（親子のための防災キャンプ）が本校体育館を中心に実施されました。主催は、天草市青少年ボランティア協議会で、稜南中校区の子供たちや保護者を対象とした、1泊2日の研修でした。

本校の体育館は避難所に指定されており、8月11日には実際に避難された方々が約80人おられます。車中で避難されている方々も併せると100人にも上ると聞いております。

本キャンプは、昨年度から計画されていて、「激甚災害に備える」目的で実施に向けて準備が進められていたところに、大雨が襲い、このキャンプの開催意義が高まったところでした。

開催直前まで、参加者が増えて、当初の参加希望者より多くの方々が参加されました。子供は、小さい幼児から高校生まで。保護者の方々もたくさん参加され、総勢36人、スタッフを併せると48人でした。

中学校からも2人が参加しました。右に、感想を掲載します。



↑警察考案の”逃走中“



箸作り体験

↑はしご車体験

1年 今福 心美さん

防災キャンプに家族みんなで参加しました。私が一番印象に残ったことは食事です。アイラップ炊飯といって、袋にお湯を入れて、ご飯を炊いたり、缶詰めや魚肉ソーセージ、インスタントみそ汁、レトルトカレーなど、災害時に電気が使えないでも調理ができるものでした。

また、「みんなで協力する」ということも学びました。小さな子供から高齢者の方まで、災害時には多くの人が避難されます。そのため、避難場所ではみんなで協力しようということを教わりました。

とてもいい経験になりました。

2年 田中 開理くん

今回の防災キャンプでは、ためになる知識を楽しく学ぶことができました。「自分のことは自分でやる」を目標とし、自分の箸を自分で作ったり、自分が寝るテントを立てたり、朝食で非常食を食べてみたり、貴重な体験をたくさんできました。

「アイラップ炊飯」や災害時に紙皿を無駄づかいしない工夫、火をすぐにつける方法など、いろいろなことを教えていただきました。他にも、消防の方に消防車、はしご車の見学をさせてもらったり、警察の方のお話を聞くことができたり、パトカーを見学できたり、他ではできないことをさせていただきました。最初は参加するか迷っていましたが、参加して本当によかったです。また、参加したいです。

ほぼ1ヶ月後となる、9月10日も朝からの大雨で心配したところでしたが、大きな被害もなく安心しました。防災キャンプで学んだことが、生き延びる可能性を高め、自信につながるのではないかでしょうか。この経験を、いろんなところに広めてほしいと思います。